

彼岸だより

東澤山 菜流寺
 住職 武山清堂
 〒 421-2102 静岡市葵区油島 122
 電話 054-294-0542 秘在寺へ
 Fax 054-294-0709
 info@hizaiji.net
 http://hizaiji.net/
 http://ashita-an.hizaiji.net/

◆お彼岸

今日彼岸 菩提の種を 蒔く日かな

皆さんはもう冬野菜の種を蒔きましたか？私は遅ればせながら大根の種と、今年初めて日野菜の種を蒔きました。生長と収穫が楽しみです。

この句の意味ですが、「お彼岸は安心（あんじん）を自覚する修行の期間です。今こそその種を蒔きましょう」とも、「今こそが極楽浄土だよ、二度とないこの日々を大切に大事に過ごしましょう」ともとれます。

また菩提とは亡き人（先祖）の冥福を祈ることでもあります。「どうぞ仏さまの世界で安らかにやすみください。そして残された私達を見守り、お導き下さい」とお墓にお参りしましょう。

九月二十日（金）が彼岸の入り、明けは二十六日（木）でお中日は二十三日（月）です



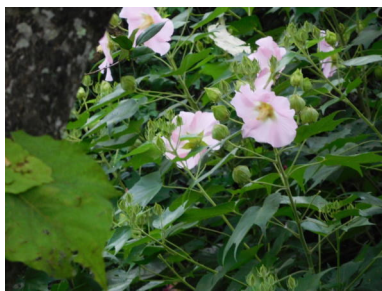
◆彼岸花

今年彼岸花の開花が遅いような気がします。今年、どうでしょう？昨年、彼岸だよりを見るときは九月三日に既に咲いていました。九日には句碑の周りに蕾がたくさん見られました。私の気がつくのが遅かったのかも知れませんが、この写真は十二日に、墓地参道脇で撮影しました。まだそんなにたくさん咲いていませんでした。句碑の周りは蕾すらありません。

彼岸花の開花に係るのは、日照時間ではなくて温度だそう。葉も出ていないのに、お彼岸頃になると突然一斉に咲き出すのはなぜだろう？と思いますが、地温がある程度下がると花芽が分化し発達するそうです。九月に入っても暑い日が続きます。特に台風十五号通過後は静岡市で三十五度近くあつたそう、秘在寺ではそこまで暑かっただけです。

◆芙蓉

八月末から秘在寺境内では芙蓉が咲き始めました。ピンク・白・それぞれの八重といろいろありますが、この写真は酔芙蓉です。こんな風に変わります。最初は真っ白ですが、しぼむと濃いピンクになります。



9/12 午前9時に室内で30度！



◆ 施餓鬼会 (せがきえ)



九日、山門大施餓鬼会が行われました。暑い中、お出かけいただきありがとうございます。暑い中、役員の皆様には準備、片付けにご協力いただき、お礼申し上げます。

法要後、本山からいただいた長寿者表彰状と成人のお祝いの授与式を行いました。今回、大村良一さんが百歳のお祝いの表彰状をご自身で受け取られました。また米寿の豊泉鉄太郎さんはご自分の運転で出席されました。すばらしいですね。



開式前の法鼓 (ほつく)



御詠歌
盆施餓鬼御和讃
(ぼんせがきごわさん)



◆ 草刈りお礼

例年のように八月十五日夜、油島川除け地蔵供養祭が行われました。今年はいにく雨でした。十六日朝には油島精霊送りも行われました。

俵沢六・七組の皆様、役員の皆様ご協力をありがとうございました。



◆ 第二十一回そらの道まつり

十一月三日 午前十時半
秘在寺

皆様のお越しをお待ちしております。



◆ 第六回 しずきたこだマルシェ

主催 郷土を良くする会
 十二月十五日(日) 10時～12時
 賤機北小運動場(雨天 体育館)

◆ みちゆかし

◆ 「みちゆかし」は藤枝市の東海境界隈をフィールドに開催する体験交流プログラムで、主催は藤枝市です。(しずおか中部連携事業)

◆ 昨年からマルシェと名前を変えましたが、ワークショップやおいしい食べ物、野菜や雑貨など皆様に楽しんでいただけるよう企画を練っています。ご家族やお友だちなど誘い合わせの上ご来場下さい。スタッフ一同心からお待ち申し上げます。

◆ 東海道は東西を結ぶ、交通の要としての『道』
 ここには様々な人や物だけでなく『未知』なる技術、芸術、思想が行き交う中でも宿場は、人々が脚を留め未知なるものが交流し、混ざり合い新たな文化が生まれる基盤となる人が生み出す文化は留まることなく、新たな出会いを経て、さらに発展し続ける。

◆ 今回は藤枝・静岡・島田をフィールドに東海道で育まれた文化を、現代風に切りとり楽しい『満ち』溢れた十五個の体験交流プログラムを開催します。

◆ 「みちゆかし」
 ～古道で出会うおもしろきこと～
 東海道の奥深さに触れる体験へ

秘在寺も縁あって、今回参加することになりました。十月二十六日です。

参加は事前予約制です。公式 Web サイトは <https://shizuoka-onpaku.jp/fujieda-michiyukashi/>



プログラム日程一覧			
9月21日① 13:00-17:00	藤枝大祭りのルーツ! 青山八幡宮を知る旅 ～大祭り直前! 製りと総り、神と人の境界を歩く～	青山八幡宮 藤枝市八幡986	04
9月22日① 13:00-17:00	マッチアップトークセッション① ～街道筋を歩いて楽しむまち歩き講座～	白子ノ劇場 藤枝市本町2-7-5	01
10月6日① 8:30-12:30	「今川の里探訪」と「臨濟寺」の見どころ特別解説 今川家の菩提寺「臨濟寺」特別拝観直前企画!	藤枝市郷土博物館 藤枝市若王子500	09
10月12日① 13:30-17:00	今昔の藤枝宿の都市伝説を歩く	藤枝市生涯学習センター 藤枝市茶町1-5-5	06
10月19日① 9:00-14:50	心和む木喰仏めぐり① ～木喰上人の足跡と微笑みに出会う旅～	岡部総合案内所 藤枝市岡部町岡部29-1	10
10月19日② 10:00-11:30	スターバックスでお茶染めバッグの型染め体験	スターバックスコーヒー 藤枝店 藤枝市本町1-2	11
10月19日③ 18:30開演 20:30閉演	一夜会～ ～了善寺とシンギングボウル演奏×VJ～	了善寺 藤枝市天王町1-4-1	15
10月20日① 7:00-8:00	史跡広場で朝ヨガ体験① ～悠久の歴史と心をつなぐ朝のひととき～	岡部総合案内所 藤枝市岡部町岡部817	03
10月22日① 10:00-15:00	木喰仏レリーフ作り ～木喰仏の造形を辿る～	岡部総合案内所 藤枝市岡部町岡部817	14
10月23日② 9:00-14:30	心和む木喰仏めぐり② ～木喰上人の足跡と微笑みに出会う旅～	岡部総合案内所 藤枝市岡部町岡部29-1	10
10月24日① 10:00-14:00	大井神社で紙の芸術体験 ～神社と紙の繋がりを～	大井神社 島田市大井町2316	12
10月26日① 10:00-11:30	親子の創造力を刺激する ～遊びデザインワークショップ～	秘在寺 静岡市葵区郷島562	13
10月27日① 15:00-17:00	江戸時代のゲーム「絵双六」でめぐる 東海道宿場の茶菓子と茶	魚一 島田市道徳5-1-18	05
10月27日② 9:00-12:00	戦国山城入門III ～丸子城跡編～	駿府駅前 静岡市駿河区 丸子3240-1	07
11月2日① 13:00-17:00	マッチアップトークセッション② ～街道筋を歩いて楽しむまち歩き講座～	白子ノ劇場 藤枝市本町2-7-5	01
11月3日① 9:00-15:00	戦国山城入門IV ～朝比奈城跡と上の山城跡編～	道の駅 玉置の里 藤枝市岡部町新倉1214-3	08
11月9日① 7:00-8:00	史跡広場で朝ヨガ体験② ～悠久の歴史と心をつなぐ朝のひととき～	岡部総合案内所 藤枝市岡部町岡部817	03
11月24日① 10:00-12:30 20:00-14:00-16:30	『高座パトル』 落語×説法	大蔵寺 藤枝市藤枝4-2-7	02



芸術 No.13
 集合場所 秘在寺
 静岡市葵区郷島562
 開催日時 10月26日①
 10:00-11:30

親子の創造力を刺激する ～遊びデザインワークショップ～



安徳川の中流、御島に佇む冷泉山に秘在寺。創建は記録には建暦士でもある副住職が設計した新しい本堂に建て替えられています。このお寺は従来のお寺とは違う何かを感じられ、現に秘在寺を訪れたデザイナーの滝谷知宏は副住職と話し合い周りを観察し、「お寺」とは様々なコミュニケーションの場だ」と再認識したそう。

今回はデザイナー事務所「Goodbymarket」が、秘在寺で親子の創造力を刺激する遊びのデザインワークショップを開催。想像力を刺激する空間で、小石や落葉など自然にあるものを作品や遊び道具に変えて親子で楽しみましょう。



【案内人(泣)から】
 滝ヶ谷知宏 goodbymarket デザイナー
 2011年より富士山中継子の遊びをテーマにデザイン活動を行っている。2児の父。
 武山一寛 秘在寺副住職、一般職僧士
 2013年に「みんなのお寺」をテーマに秘在寺本堂を自ら設計。2児の父。

【参加料金】子ども500円(対象年齢5才～小学生、一緒に参加する大人は無料)【参加人数】定員子ども10名(最少参加人数5名)
 【観覧料(大人)】しずてつジャストライン安倍線「岡部」下車徒歩分 【駐車場】有 【募集期間】1週間前まで 【備考】雨天中止 動きやすい服装
 【お申し込み先】みちゆかしWebサイトまたは、SACLABO Tel.070-5332-3955

◆ 妙心寺奉仕団参

十月一日～二日

静岡東教区第一部主催の奉仕団参ですが、秘在寺から五名、菜流寺から四名参加します。妙心寺での奉仕作業の他、大徳寺の拝観をします。

◆ 四国八十八箇所巡拝

十二月二～五日

第一回の四国遍路ですが、住職・寺庭を含めて十六名、ジャンボタクシー二台で三十五箇所の霊場にお参りする予定です。



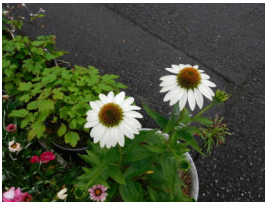
◆ カモシカ出現

八月二十日のことでした。本堂北側の洗濯干し場に行ったら、カモシカがたまたまいてびっくり。写真を撮りたかったのですが、思わず声を上げたら逃げてしまいました。以前お墓の山の方にいたのを見たことはありますが、目の前に現れたのにはさすがに驚きました。イノシシやサルは目の前で見たことがありませんが、この至近距離でのカモシカは初めてです。栗が実ったためか、建物のそばの堂奥橋の付近ではサルが横断する姿がたびたび見られます。七月には学区内でクマが目撃されたそうですし、困りますね。



これは私が撮った写真ではありません。でもこんな感じで黒くてずんぐりしていました。

庭の花



暑かったのでプランターの花も、葉が焼けたようになってしまいました。花期が短かったです。ひまわりとエキナセア。

◆ 今川さん

今川義元が見直されています。今川復権まつりが五月三～六日に駿府城公園で行われ、五月十九日には臨濟寺で合同法要が行われました。

桶狭間の戦いにおいて、二万五千という大軍を擁しながら、わずか二千の織田信長に敗れてしまった今川義元。その強烈なイメージばかりがクローズアップされ、長いあいだ世間から「公家かぶれの凡将」と揶揄されてきました。しかし、義元は「海道一の弓取り(東海道で最も強い武将)」と言われ、当時の戦国大名の中では文句なくトップレベルの才覚を持っていました。桶狭間で敗北をもつてその業績や人格まで否定されてしまふのは間違いです、と今川義元公生誕五百年祭推進委員会委員長の小和田哲男氏がおっしゃっています。というわけで、今川義元公の功績を再評価してその汚名を返上したいと、今川さん製作委員会が発足、「今川さん」をご当地キャラとして復活させました。それがこのイラストです。泣いているのは桶狭間の戦い(一五六〇)で織田信長に敗れて以来、四百年以上も世間から「阿呆」「公家かぶれ」とバカにされてきたのが悔しいからだそう。



駿府、現在の静岡市は、義元公を中心とした「今川時代」と家康公の「大御所時代」に大きく繁栄しました。秘在寺ができたのもこの今川の時代で、開山様は今川家の軍師、雪斎長老(太原崇孚 たいげんそうふ)です。



今川さんの焼き印を押した、こんなどら焼きをお供物としていただきました。

